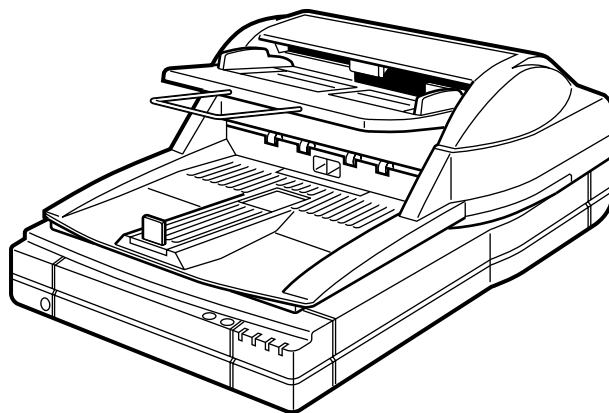


リコーイメージスキャナー

IS450/IS450E/IS450D

使用説明書



ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は製品の正しい使い方や、使用上の注意について記載してあります。
ご使用前に、この使用説明書を最後までお読みの上、正しくお使いください。
また、この使用説明書が必要になったとき、すぐ利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」を参照してください。

複製に関するご注意

スキャナーを使って複製を行う場合、法律により罰せられるものがありますので、ご注意ください。

1. 複製すると犯罪となるもの

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券（国債証券、地方債証券等）を複製することは禁止されています。たとえ見本の印が押してあっても複製することはできません。
- ・ 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類を複製することは禁止されています。
- ・ 未使用の郵便切手、官製はがきの類を複製することは政府の許可をとらない限り禁止されています。
- ・ 政府発行の印紙等を複製することは政府の許可をとらない限り禁止されています。

（関係法律）

- ・ 紙幣類似証券取締法
- ・ 通貨及証券模造取締法
- ・ 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- ・ 郵便切手模造等取締法
- ・ 印紙等模造取締法

2. 複製をすると犯罪になる恐れがあるもの

- ・ 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは事業会社が業務に供するための最低必要部数を複製する以外は、その複製の目的によっては罰せられることもありますので、注意が必要です。
- ・ 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類は発行元に確認するなど注意が必要です。

3. 著作権法で保護されているもの

- ・ 著作権法の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人または、家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用するために複製する以外は禁じられています。

モデル名について



この使用説明書では、製品名称を以下のモデルに分類して説明しています。
お読みになる前に、ご使用の製品が該当するモデルを確認して下さい。

- ・ 「片面読み取りモデル」: IS450、IS450E
- ・ 「両面読み取りモデル」: IS450D
- ・ 「エンドーサ付きモデル」: IS450E

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

-  **警告**...この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意**...この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⊘ の中に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は、“アースを接続してください”を表します。)

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

警告



- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。お客様による修理は危険ですからおやめください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠️注意



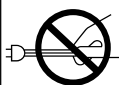
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- 機械は約26kgあります。機械を移動するときは、必ず自動原稿送り装置（ADF）側を手前にして持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



- 原稿づまりを処置してスキャナーを閉じる場合は、手を挟まないように気をつけてください。けがの原因になります。

- 部品は、当社指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、当社指定の交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

マークについて

本書で使用されているマークは次のような意味があります。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

* 以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作すると、紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

【 】

操作部のキーの名称を示します。

目次

安全上のご注意	1
表示について	1
表示の例	1
マークについて	4
1. はじめに	
特長	9
高速読み取り	9
原稿の両面を同時に読み取り（両面読み取りモデルのみ）	9
本体のキーでダイレクトに操作（マニュアルスキャン機能）	9
150枚の大量給紙	9
読み取った原稿に印字（オプション）	9
省スペース設計	9
高機能RICOH Twain Driver	9
各部の名称	10
表示部の見かた	12
2. 設置と接続	
設置前の確認	13
設置環境を確認する	13
パソコンと接続する	15
SCSI とは	15
本機の SCSI 接続	15
SCSI ID を設定する	16
SCSI ケーブルを接続する（本機が終端になる場合）	16
SCSI ケーブルを接続する（本機が終端でない場合）	16
電源ケーブルを接続する	17
電源を入れる、切る	18
電源を入れる	18
電源を切る	18
ハードリセットについて	19

3. 原稿をセットする

原稿について	21
セットできる原稿のサイズと紙厚	21
サイズを読み取りにくい原稿	22
原稿サイズと読み取り範囲	22
原稿をセットするには	23
コンタクトガラスにセットするには	23
自動原稿送り装置 (ADF) にセットするには	23

4. 読み取る

一般的な読み取りかた	25
マニュアルスキャン	26

5. こんなときには

読み取りがはじまらないときには	27
エラー表示と対処	28
自動原稿送り装置 (ADF) に関する対処	29
原稿が自動原稿送り装置 (ADF) の中で詰まった場合	29
原稿が自動原稿送り装置 (ADF) に正常に送られない場合	29
原稿テーブルの動作に異常がある場合	29
エンドーサ (印字機構) の印字が薄かったり、原稿が汚れるときは	30
インクロールを交換するには	30
エンドーサ (印字機構) の清掃について	32

6. 付録

保守と運用について	34
保守契約	34
清掃	34
コンタクトガラス、ADF コンタクトガラス、圧板、 ホワイトプレートを清掃するには	35
フィードローラーやドラムを清掃するには	35
圧板裏のホワイトローラーを清掃するには (両面読み取りモデルのみ)	35

移動	37
近くに移動するとき	37
スキャナーを輸送するとき	37
廃棄	37
オプション	38
画像プロセッシングユニット	38
赤ランプユニット	38
エンドーサユニット	38
仕様	39
スキャナー本体	39
DIP スイッチ	40
索引	41

1. はじめに

特長

ここでは、本機の特長について説明します。

高速読み取り

A4 □ モノクロ 200dpi=55 ページ / 分、A4 □ モノクロ 400dpi=31 ページ / 分の高速読み取り。
両面読み取りの場合は、A4 □ モノクロ 200dpi=86 ページ / 分です。

2 値読み取りで自動原稿送り装置 (ADF) を使用した場合の 2 枚目以降の読み取り速度。

原稿の両面を同時に読み取り (両面読み取りモデルのみ)

1 枚 1 枚離れた原稿は両面を同時に読み取ることができます。これにより、読み取るたびに原稿を裏返しにする手間が省けます。

本体のキーでダイレクトに操作 (マニュアルスキャン機能)

マニュアルスキャン機能に対応するドライバーを使用すると、本体の【スタート】キーを押して読み取りを開始することができます。読み取るたびに原稿をセットする必要がある場合などに便利です。

150 枚の大量給紙

本機の自動原稿送り装置 (ADF) へ、最大 150 枚まで給紙することができます (A4、55kg、64g/m² の用紙)。

読み取った原稿に印字 (オプション)

自動原稿送り装置 (ADF) で読み取った原稿に記号や番号を印字する機構 (エンドーサ) をオプションでご用意しました。読み取ったデータを照合したり、原稿が読み取られたことを確認するときに便利です。

省スペース設計

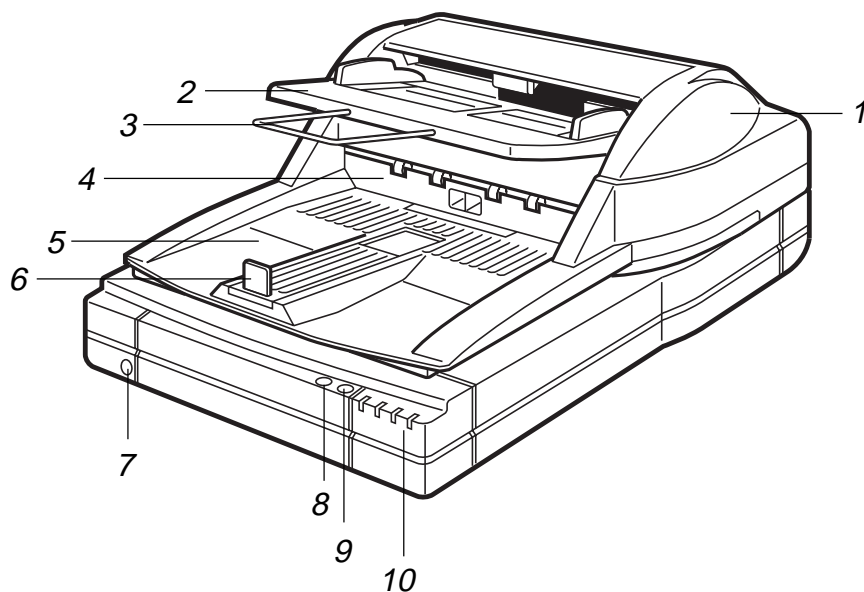
原稿トレイなどの出っ張りがないウイングレススタイルを採用。壁につけて設置でき、オフィスのスペースを有効活用できます。

高機能 RICOH Twain Driver

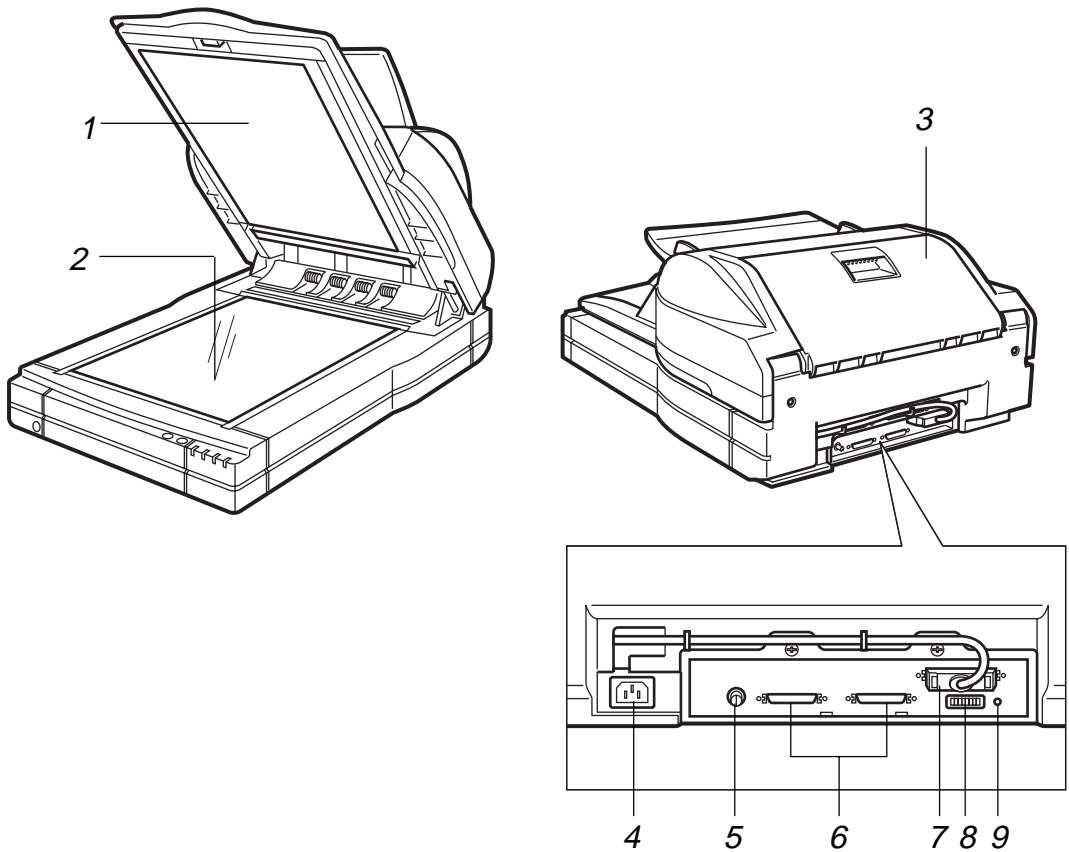
高機能 RICOH Twain Driver を標準添付。

独自のユーザーインターフェースにより、リコーならではの豊富な機能をご使用いただけます。

各部の名称



1. 自動原稿送り装置 (ADF)
原稿を自動的に送って読み取るときに使用します。
2. 原稿テーブル
自動原稿送り装置 (ADF) で読み取る原稿をここにセットします。
3. 補助テーブル
サイズの大きい原稿を自動原稿送り装置 (ADF) にセットするときに伸ばします。
4. エンドーサカバー
エンドーサ (印字機構) を清掃したり、インクロールを交換するときに外します。
5. 排紙テーブル
自動原稿送り装置 (ADF) を使用して読み取りが終わった原稿がここに排出されます。
6. ストッパー
自動原稿送り装置 (ADF) で読み取り終わった原稿を止めます。
7. 電源スイッチ
本機の電源を入れたり切ったりします。
8. 【リセット】キー
マニュアルスキャンを終了するときに使用します。
9. 【スタート】キー
マニュアルスキャンを開始するときに使用します。
10. 表示部
スキャナーの状態を確認することができます。

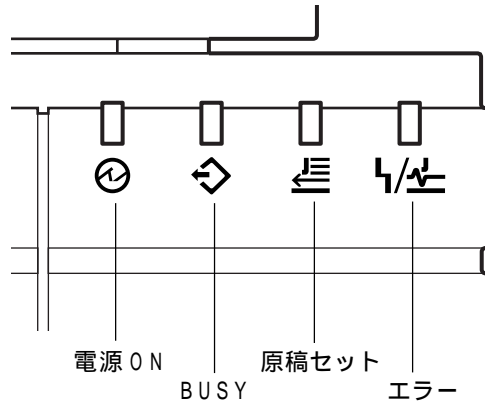


1. 圧板
コンタクトガラスにセットした原稿を押さええます。
2. コンタクトガラス
原稿をセットします。
3. ADF カバー
原稿が詰まったときなどに開きます。
4. 電源コネクター
電源ケーブルを接続します。
5. ロータリースイッチ
SCSI IDを設定するときに使用します。
6. SCSI コネクター
SCSI インターフェースケーブルを接続します。

7. 裏面読み取りインターフェース
裏面読み取り用拡張インターフェースです。
(両面読み取りモデルのみ)
8. DIP スイッチ
動作モードを設定するスイッチです。
9. ハードリセットスイッチ
本機の電源を入れ直した状態にするスイッチです。DIP スイッチやロータリースイッチの設定を有効にするときに使用します。

表示部の見かた

スキャナーには、次のような表示部があります。



スキャナーが正常な状態のとき、表示部は次のように表示されます。これら以外の状態になった場合は、エラーが発生しています。P.28「エラー表示と対処」を参照してください。

				内容
				電源を入れたり、ハードリセットしたとき (数秒間のみ)
	-	-	-	自動原稿送り装置(ADF)に原稿がなく、読み取っていないとき
	-	-	-	自動原稿送り装置(ADF)に原稿があり、読み取っていないとき
		-	-	読み取ったデータの転送中 (ADFに原稿がないとき)
			-	読み取ったデータの転送中 (ADFに原稿があるとき)
	-		-	マニュアルスキャン待機状態のとき (【スタート】キーを押す前)
	-	-	-	低電力モードのとき

○ : 点灯

□ : 点滅

- : 消灯

2. 設置と接続

この章では、スキャナーを使用する前に必要な準備について説明します。

設置前の確認

設置環境を確認する

次の条件を満足する場所に設置してください。

❖ 設置場所

⚠ 警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠ 注意



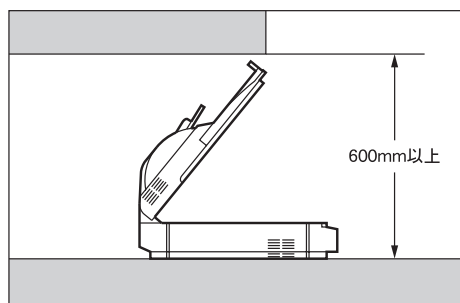
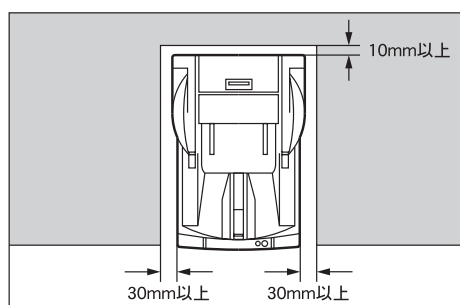
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。

- 設置する台の平面度：前後左右5mm以下

❖ 設置スペース

次の図のようなスペースを確保できる場所に設置してください。



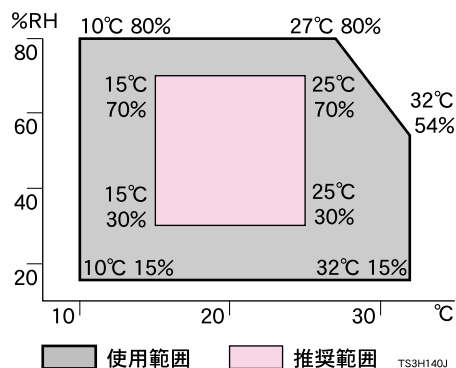
❖ 設置環境

🔴 重要

❑ 故障の原因になりますので、次のような場所に置かないでください。

- 直射日光の当たる所
- エアコンや暖房機などの温風・ふく射熱が直接当たる所
- ラジオ・テレビなど、他のエレクトロニクス機器に近い所
- 高温、高湿、低温、低湿になる所
- 加湿器の近く

温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。



重要

- スキャナーの梱包箱や緩衝材は、スキャナーを輸送するときに使用できるように保存してください。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

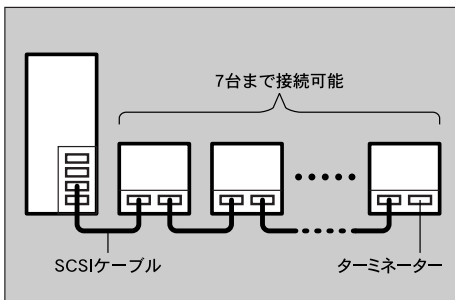
パソコンと接続する

本機は、SCSI という規格のインターフェースケーブルでパソコンと接続します。ここでは、SCSI の概要と接続方法を説明します。

SCSI とは

SCSI (Small Computer System Interface) とは、周辺機器とパソコンの間で高速なデータ伝送を行うためのインターフェースの規格です。

- SCSI 接続では、ANSI 規格準拠の SCSI ケーブルを使用して、数珠つなぎ (ディジーチェーン) でパソコンと周辺機器を接続します。
- 各周辺機器には、あらかじめ重複しない SCSI ID (0 ~ 7) を割り当て、設定しておく必要があります。
- 接続の終端になる機器には、ターミネーターが必要です。



重要

- 同一の SCSI ID が複数存在すると、誤動作が生じるかまたはデータが破損する可能性があります。本機の SCSI ID が他の SCSI 機器と重複しないように設定してください。

本機の SCSI 接続

本機の SCSI 接続は、次のようになっています。

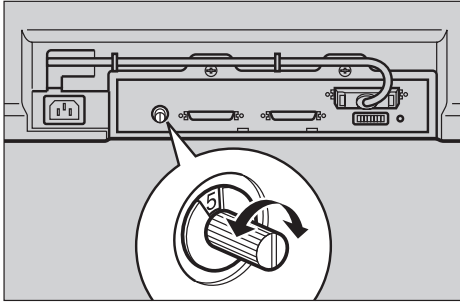
- 本機は SCSI-2 に準拠しています。SCSI-1 に準拠している周辺機器も接続して使用することができます。本機の SCSI インターフェースは 50 ピンハーフピッチ (ピンタイプ) です。ANSI (*American National Standards Institute) 規格準拠のシールド SCSI-2 ケーブルで接続してください。ケーブルと SCSI ボードの組み合わせによっては、正常に動作しない場合がありますのでご確認ください。
- SCAM 対応の SCSI ボードおよび対応 SCSI ボードのドライバーソフトをご使用であれば、本機の SCSI ID は自動的に設定されますので、設定する必要がありません。SCAM 機能のないドライバーを使用していたり、SCSI ID が他の周辺機器と重複したときは、本機の SCSI ID を設定する必要があります。
- 本機のターミネーターは DIP スイッチの ON/OFF によって、終端かどうかを設定します。

重要

- ANSI 規格準拠のシールド SCSI-2 ケーブル以外のケーブルを使用すると、誤動作または VCCI ルールの限度値を超え電波障害を起こす可能性があります。
- 接続する SCSI ケーブルの長さの合計は、パソコン内部のケーブルの長さを含めて、同期転送時は 3m 以下、非同期転送時は 6m 以下にしてください。
- 使用する SCSI ボードや同時に接続する周辺機器の組み合わせによっては、正常に動作しない場合があります。

SCSI IDを設定する

- 1 ロータリースイッチを回してSCSI IDを設定します。

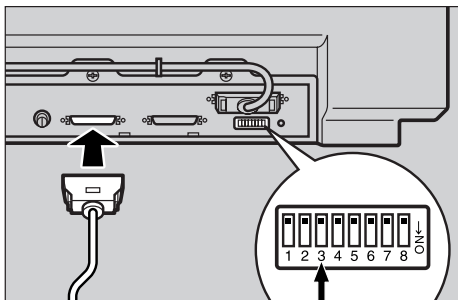


補足

- 電源が入った状態で設定を変更した場合は、ハードリセットする必要があります。P.19「ハードリセットについて」を参照してください。

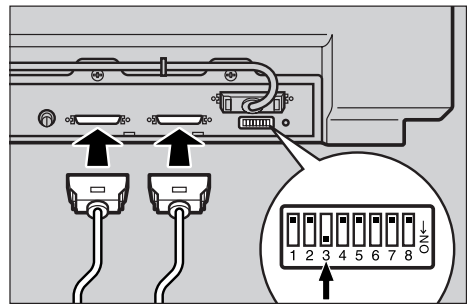
SCSI ケーブルを接続する (本機が終端になる場合)

- 1 パソコンおよびSCSI 接続するすべての機器の電源を切ります。
- 2 パソコンや周辺機器とSCSI ケーブルでディジーチェーン接続します(2つのコネクターのどちらか片側を使用します)。
- 3 DIPスイッチの3番をOFFにします。
内部のターミネーターが有効になります。
3番以外のスイッチの詳細は、P.40「DIPスイッチ」を参照してください。



SCSI ケーブルを接続する (本機が終端でない場合)

- 1 パソコンおよびSCSI 接続するすべての機器の電源を切ります。
- 2 パソコンや周辺機器と本機をSCSI ケーブルでディジーチェーン接続します。
- 3 DIPスイッチの3番をONにします。
内部のターミネーターが無効になります。
3番以外のスイッチの詳細は、P.40「DIPスイッチ」を参照してください。



電源ケーブルを接続する

ここでは、スキャナーに電源ケーブルを接続する手順について説明します。

⚠ 警告



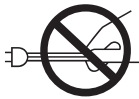
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 警告



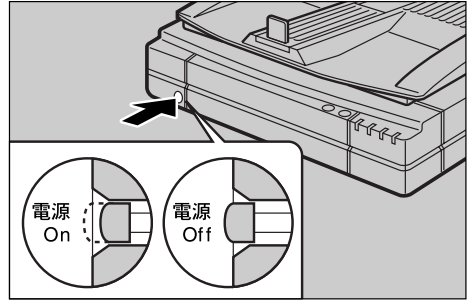
- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

⚠ 注意

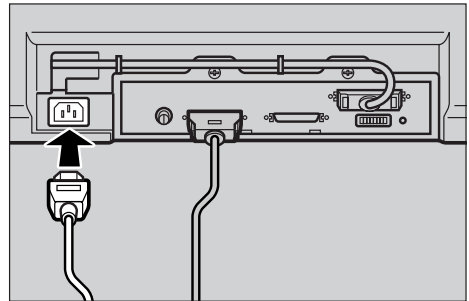


- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 1 電源スイッチがOFF（電源スイッチが出た状態）になっているのを確認します。



- 2 電源ケーブルをスキャナーの電源コネクタに奥までしっかり差し込みます。



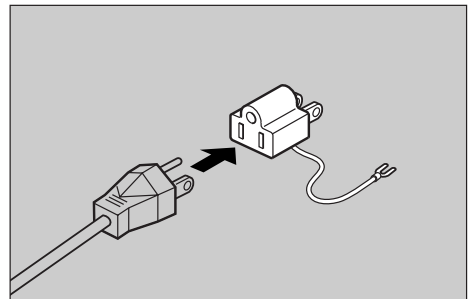
補足

- 電源ケーブルは本機に付属されているものを使用してください。

- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

3P タイプのコンセントを接続するか、アース線を次のいずれかにつないだ3P アダプター経由で接続してください。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（第1種～第3種）を行っているアース線



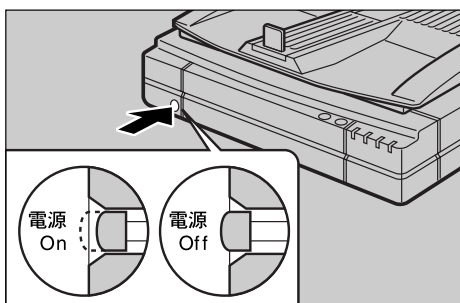
電源を入れる、切る

2

電源を入れる

電源を入れるときは、ディジーチェーンのパソコンから遠い機器から電源を入れ、最後にパソコンの電源をいれます。

- 1 電源スイッチを押し、下図のように押し込まれた状態にします。



電源を切る

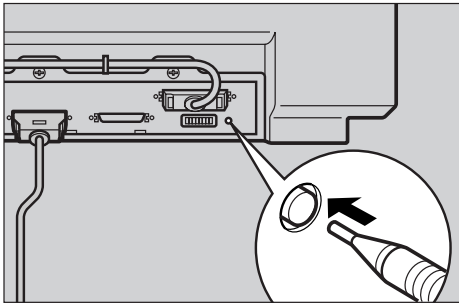
- 1 電源スイッチを押して、スイッチが出た状態にします。

ハードリセットについて

電源を入れた状態でロータリースイッチ(SCSI ID)やDIPスイッチの設定を変更した場合は、スキャナーをハードリセットする必要があります。スキャナーをハードリセットするには、電源を入れ直すか、または下記のように行います。

- 1 ボールペンのような先の細いもので、スキャナー背面のハードリセットスイッチを押します。

電源を入れたときの状態と同じになります。



3. 原稿をセットする

ここでは、読み取る原稿をスキャナーにセットする方法を説明します。

コンタクトガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットできます。複数の原稿を連続して読み取りたいときは、自動原稿送り装置（ADF）を使用すると便利です。

原稿について

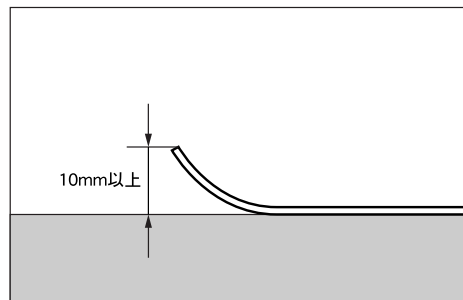
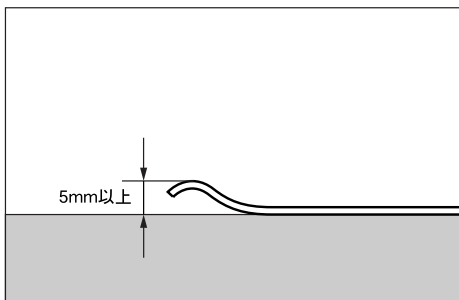
セットできる原稿のサイズと紙厚

原稿セット先	原稿サイズ	原稿紙厚（四六判）
コンタクトガラス	・ A3 (297 × 420mm) 11" × 17" (DLT) (279 × 432mm) まで	—
自動原稿送り装置（ADF）	最大：A3□、11" × 17" (DLT) □ 最小：69 × 120mm	41 ~ 128g/m ² (45 ~ 110kg)

❖ 自動原稿送り装置（ADF）にセットできない原稿

次のような原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットすると、紙詰まり、原稿破損の原因になることがあります。コンタクトガラスにセットしてください。

- ・ 「セットできる原稿のサイズと紙厚」以外の原稿
- ・ ステープラーの針やクリップ、のりなどの粘着物のついた原稿
- ・ 穴、破れのある原稿
- ・ そり、折れ、しわのある原稿
- ・ 貼り合わせた原稿
- ・ 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
- ・ インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- ・ トレーシングペーパー（第二原図用紙）などのようにすべりにくい原稿
- ・ 登記書などに使われるような薄くて柔らかい原稿
- ・ 官製はがき程度のように厚さが適当でない原稿
「セットできる原稿のサイズと紙厚」
- ・ 本などのように綴じてある原稿
- ・ OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿
- ・ 下図のように先端のカールが大きい原稿



サイズを読み取りにくい原稿

オプションの画像プロセッシングユニットが取り付けられている場合、原稿サイズを自動的に検知することができますが、次のような原稿はサイズを読み取りにくいいため、原稿サイズ自動検知をサポートしているスキャナードライバーで設定しても正しいサイズが選択されないことがあります。

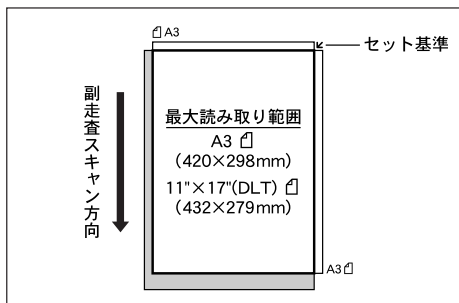
- 付せんやインデックスなどはみ出た部分のある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿
- 地肌の色が濃い原稿
- 先端部に文字や絵、ベタ部がある原稿
- A3□、B4□、A4□、B5□、A5□、B6□、A6□、DLT□、LT□、HLT□ 以外の原稿（コンタクトガラスにセットしたとき）

❖ 自動的に読み取れる原稿サイズ

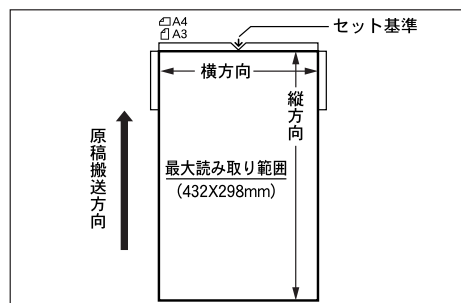
原稿サイズ	国内で使われている紙サイズ												海外で使われている紙サイズ						不定型サイズ
	A3	B4	A4	A4	B5	B5	A5	A5	B6	B6	A6	11"x17"	8½" x 14"	8½" x 11"	8½" x 11"	8½" x 5½"	8½" x 5½"		
原稿セット先	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	(DLT) □	(LG) □	(LT) □	(LT) □	(HLT) □	(HLT) □		
コンタクトガラス				x		x		x		x			x		x		x	x	
自動原稿送り装置 (ADF)																			

原稿サイズと読み取り範囲

❖ コンタクトガラス



❖ 自動原稿送り装置 (ADF)



原稿をセットするには

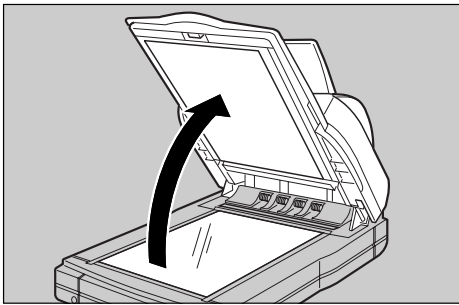
コンタクトガラスにセットするには

⚠注意

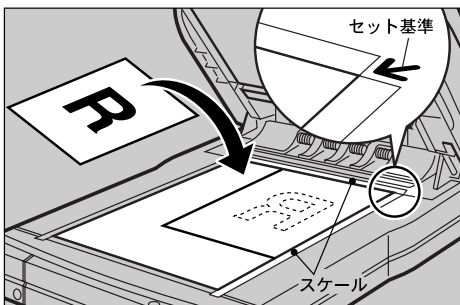


- 自動原稿送り装置（ADF）を閉じるときは、指をはさまないようにご注意ください。

1 自動原稿送り装置（ADF）を開きます。



2 読み取る面を下にし、原稿をセット基準およびスケールに合わせてセットします。



⚠重要

- コンタクトガラスは強く押さないください。局部的に強い力がかかると破損する可能性があります。

3 自動原稿送り装置（ADF）を静かに閉じます。

自動原稿送り装置（ADF）にセットするには

🔋補足

- 上限表示を超えないようにセットしてください。（積載高さ：15mm 以下）
- セットできる枚数は、原稿のサイズや紙厚によって制限されます。下表を目安にしてください。

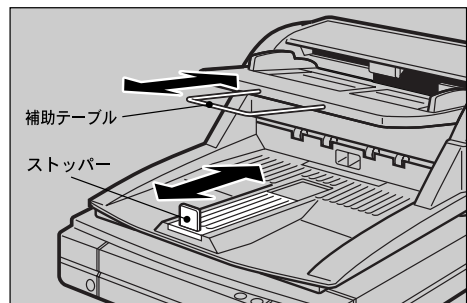
💡制限

- 原稿中央の先端から約40mm付近に色の濃い画像がある場合は、原稿をセットしたことを認識しない場合があります。このようなときは、原稿の先頭ページに白紙を追加するか、コンタクトガラスにセットしてください。

積載高さ	紙種	坪量 (g/m ²)	原稿サイズ	セット枚数
15mm	上質紙 90Kg紙	105	A4、A5、	110
			A3	80
	上質紙 55Kg	64	A4、A5、 A3	150

1 ADFを原稿の大きさに合わせます。

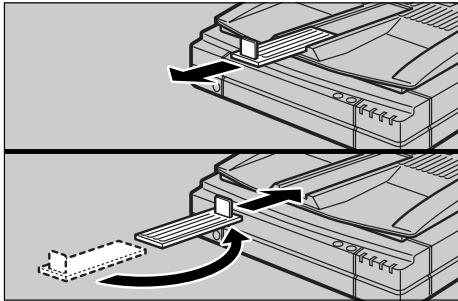
- サイズの大きい原稿を読み取るときは、補助テーブルを伸ばします。
- 排紙テーブルのストッパーを原稿に合わせて調整します。



3. 原稿をセットする

補足

- 縦のサイズがB5以下□の原稿を読み取る時は、下図のように排紙テーブルのストッパーを抜き、逆向きに差しして、位置を調整してください。

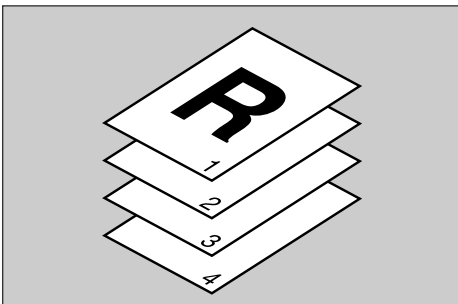


重要

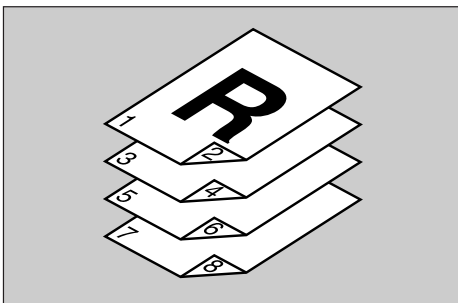
- ストッパーを出した状態でストッパーを持って自動原稿送り装置(ADF)を開閉しないでください。

- 2** 原稿を揃えます。ページ順でスキャンされるようにするには、次のように揃えます。

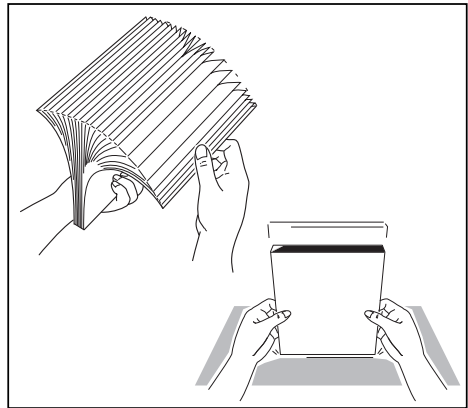
片面読み取りの場合



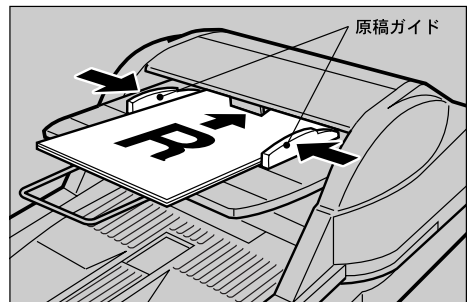
両面読み取りの場合



- 3** 原稿をよくさばき、四隅を整えてください。



- 4** 先頭ページを上にして自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットし、原稿幅に合わせて原稿ガイドの位置を調整します。



補足

- 自動原稿送り装置(ADF)が閉じていることを確認してください。

一般的な読み取りかた

セットした原稿の読み取りは、TWAIN や ISIS に対応しているソフトウェアで開始します。操作方法はソフトウェアによって異なります。詳しくは、お使いのソフトウェアのマニュアルを参照してください。

● 制限

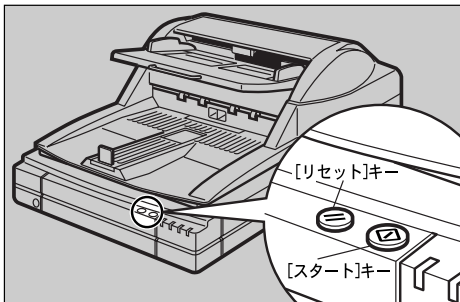
□ 両面読み取りの場合、先端が濃い原稿を読み取ると、部分的に白く読み取られることがあります。

マニュアルスキャン

マニュアルスキャン機能をサポートしているスキャナードライバーで設定することにより、本機の【スタート】キーを使って読み取りを開始することができます。

マニュアルスキャン機能を使うと、読み取るたびに原稿のセットが必要な場合などに、スキャナーとパソコンを往復する必要がなくなります。

- 1** スキャナードライバーでマニュアルスキャン機能に設定します。
- 2** 原稿をセットします。
- 3** 【スタート】キーを押します。
マニュアルスキャンを終了する場合は、【リセット】キーを押します。



5. こんなときには






読み取りがはじまらないときには

読み取りがはじまらないときは、次のことを確認してください。

確認すること	対処方法
電源が入っていますか？	電源を入れてください。
SCSI IDの設定は合っていますか？	他の SCSI 機器と接続している場合、同じ SCSI ID を使用していると本機が認識されないことがあります。P.16「SCSI IDを設定する」を参照し、異なる SCSI ID を設定してください。
DIP スイッチの設定は合っていますか？	本機が終端にあるかどうかで、DIPスイッチの設定が異なります。P.16「SCSI ケーブルを接続する」を参照し、正しく設定してください。
SCSI ケーブルがきちんと接続されていますか？	ケーブルが外れていた場合は、接続してください。
表示部が点灯または点滅していますか？	4つの表示部の点灯、点滅の組み合わせでエラーの内容がわかります。P.28「エラー表示と対処」を参照してください。
スキャナードライバーが正しく選択されていますか？	スキャナードライバーの設定については、お使いのスキャナードライバーのマニュアルまたはヘルプを参照してください。
ソフトウェアの設定は合っていますか？	ソフトウェアの設定については、お使いのソフトウェアのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

エラー表示と対処

表示部の点灯、点滅の組み合わせが次のようになっているときは、エラーが発生しています。エラーの内容を確認し、対処してください。

    	エラーの内容	対処方法
- -	自動原稿送り装置 (ADF) または ADF カバーが正しく閉じられていません。	自動原稿送り装置 (ADF) または ADF カバーを開めてください。
-	原稿が自動原稿送り装置 (ADF) の中に詰まっています。	次の P. 29 「自動原稿送り装置 (ADF) に関する対処」を参照して、詰まった原稿を取り除いてください。
-	原稿が自動原稿送り装置 (ADF) 正常に送られていません。	次の P. 29 「自動原稿送り装置 (ADF) に関する対処」を参照して、正しく送られなかった原稿を取り除いてください。
-	原稿テーブルの動作に異常があります。	次の P. 29 「自動原稿送り装置 (ADF) に関する対処」を参照して、ADF カバーを開閉してください。
-	エンドーサ (印字機構) が故障している可能性があります。	自動原稿送り装置 (ADF) を何度か開閉してみてください。同じエラーが発生する場合は、サービス実施店に連絡してください。
	システム エラー	サービス実施店に連絡してください。

○ : 点灯

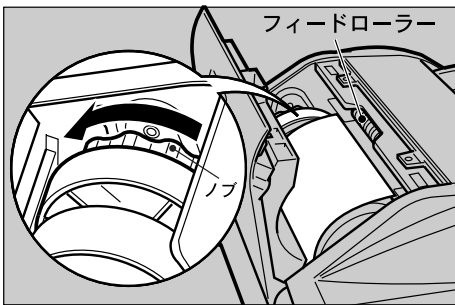
◐ : 点滅

- : 消灯

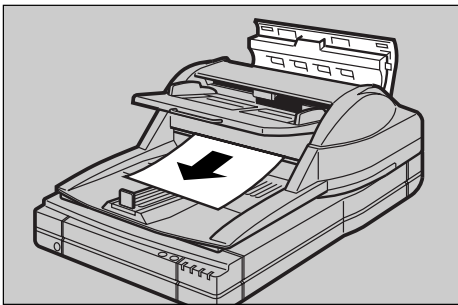
自動原稿送り装置 (ADF) に関する対処

原稿が自動原稿送り装置 (ADF) の中で詰まった場合

- 1 ADF カバーを開きます。
- 2 ADF カバーを開き、ドラム横のノブを矢印方向に回します。



- 3 排紙テーブルの原稿を取り除きます。

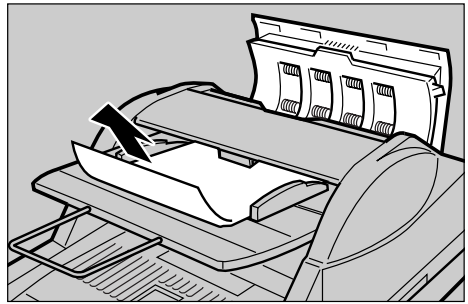


補足

- 原稿の先端がフィードローラー部分で詰まっている場合は、原稿の先端をつかんで ADF カバー方向へ静かに引き抜いてください。

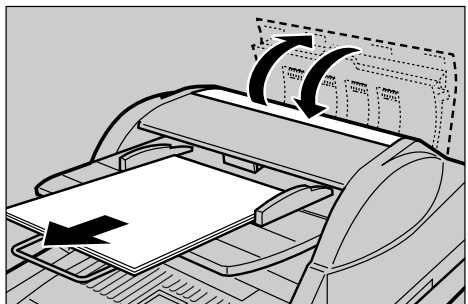
原稿が自動原稿送り装置 (ADF) に正常に送られない場合

- 1 ADF カバーを開きます。
- 2 原稿を引き抜きます。



原稿テーブルの動作に異常がある場合

- 1 原稿を自動原稿送り装置 (ADF) から外します。
- 2 ADF カバーを開きます。



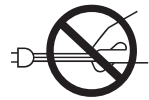
- 3 ADF カバーを閉めます。

エンドーサ（印字機構）の印字が薄かったり、原稿が汚れるときは

インクロールを交換するには

エンドーサ（印字機構）の印字が薄くなったときは、インクロールを交換してください。

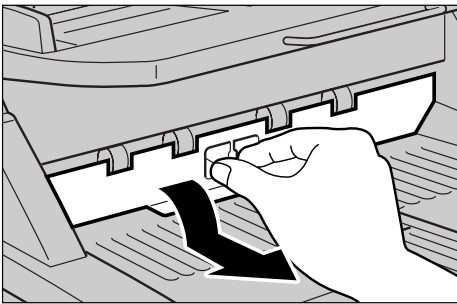
⚠注意



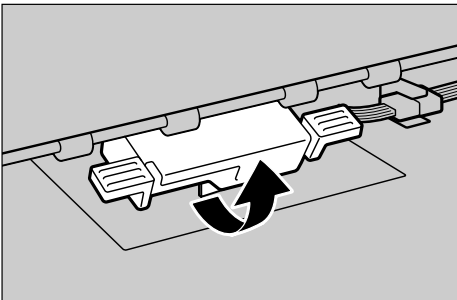
• 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

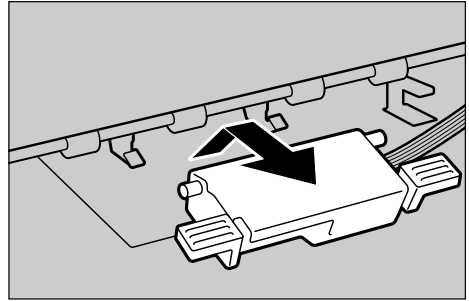
2 排紙テーブルの奥にあるエンドーサカバーを、手前に倒すように引いて取り外します。



3 エンドーサ（印字機構）の緑の部分を持って、矢印の方向にカチッと音がするまで回します。



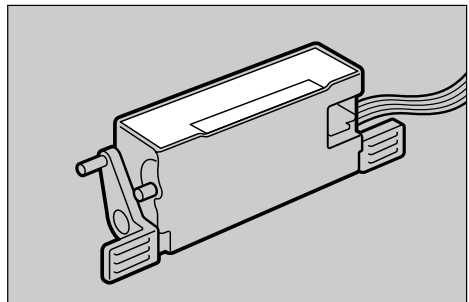
4 エンドーサ（印字機構）を、奥を上げるようにして手前に引いて取り外します。



⚠重要

□ エンドーサ（印字機構）のコードを引っぱらないようにしてください。

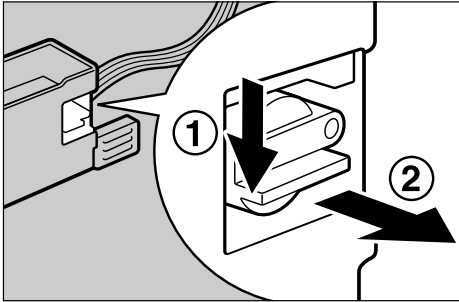
5 印字部分を上に向けて置きます。



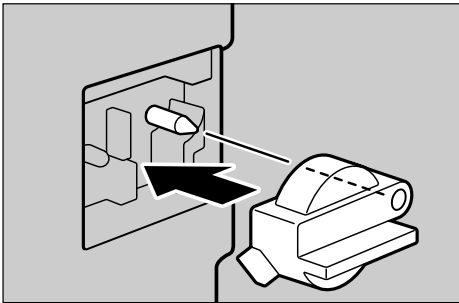
⚠重要

□ 印字部分は手や硬いもので触らないでください。指を汚したり、印字部分を傷つけることがあります。

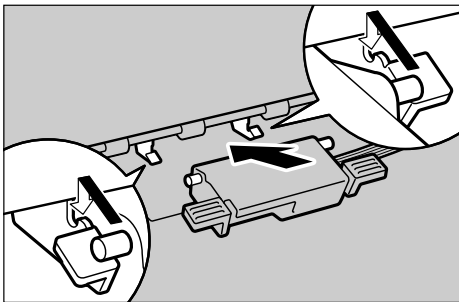
- 6** 古いインクロールを軽く押し（ ① ）引き抜きます（ ② ）。



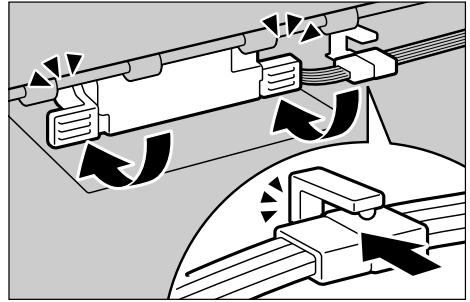
- 7** 新しいインクリボンをエンドーサ（印字機構）に差し込みます。



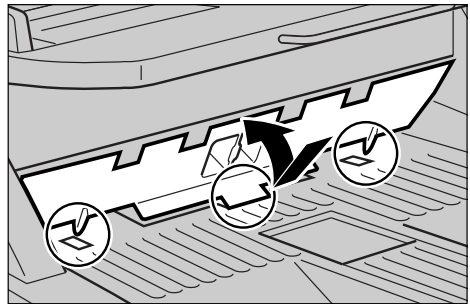
- 8** 本体のフックとエンドーサ（印字機構）を図のように合わせます。



- 9** カチッという音がするまでエンドーサ（印字機構）を押し込み、エンドーサ（印字機構）の電源コードをフックに収めます。

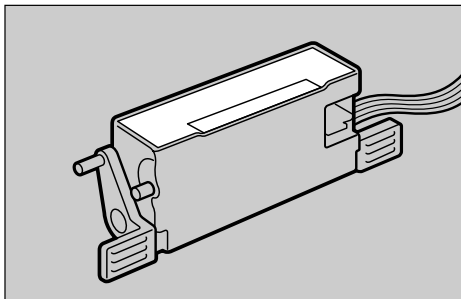


- 10** エンドーサカバーの下の凸部を排紙テーブルに差し込んでから、押し込みます。



エンダーサ（印字機構） の清掃について

エンダーサ（印字機構）の印字部分のまわりや印字部に紙粉やほこりが付いていると、きれいに印字できなくなることがあります。汚れたときは、下図の白く示した部分を乾いた柔らかい布で拭いてください。



重要

- 印字部分は手や硬いもので触らないでください。指を汚したり、印字部分を傷つけることがあります。

6. 付録

保守と運用について

保守契約

- 保守契約とは、お客様本位に考えられた無償保証期間後のサービスシステムです。一定のご予算でスキャナを良好な状態に保ちます。保守契約されると次のようなメリットがあります。
- 計画的に経費の運用ができます。
- 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
- カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。
- 保守契約を希望される場合は、購入された販売店にご連絡ください

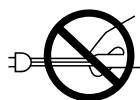
清掃

警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。

注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

スキャナーを良好な状態に保つために、定期的に清掃してください。

まず、柔らかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れがとれないときは、柔らかい布を水で濡らし、固く絞ってから拭いてください。水でもとれない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、その後乾拭きし、水気を十分にとります。

重要

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。
- スキャナーの内部にホコリや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

コンタクトガラス、ADF コンタクトガラス、圧板、ホワイトプレートを清掃するには

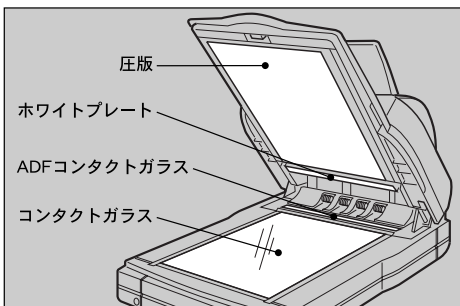
⚠注意



- 自動原稿送り装置(ADF)を閉じるときは、指を挟まないようにご注意ください。

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

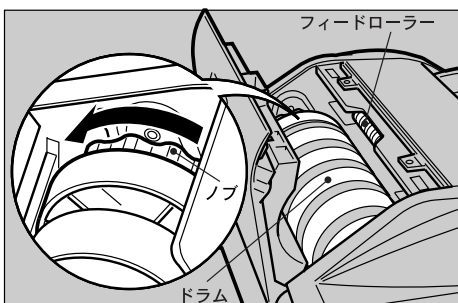
2 乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。



フィードローラーやドラムを清掃するには

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 ADF カバーを開き、指でフィードローラーやドラムを回しながら、水で濡らして固く絞った布で拭いてください。



🔧補足

- ドラムを回すときは、青いノブを回してください。

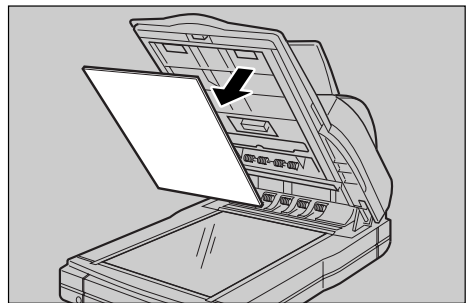
- 鉛筆などの定着のよくないもので書かれた原稿を読み取った後は、必ずフィードローラーを清掃してください。清掃をしないと、次に読み込んだ原稿を汚すことがあります。

圧板裏のホワイトローラーを清掃するには(両面読み取りモデルのみ)

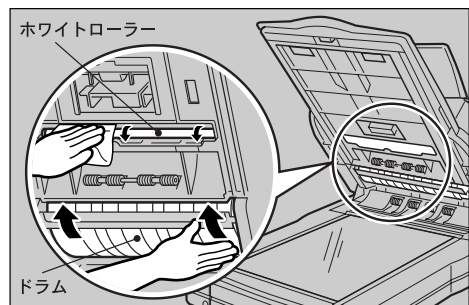
両面原稿を読み取った場合に、裏面の画像に縦白スジ(通紙方向の白スジ)が発生したときは、次のような手順で清掃します。

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

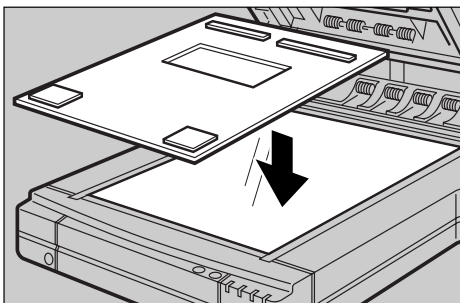
2 自動原稿送り装置(ADF)を開き、マジックテープで固定されている圧板を静かに引っぱって外します。



3 ドラムの青いノブを矢印の方向に回しながら、水で濡らして固く絞った布でホワイトローラーを拭きます。



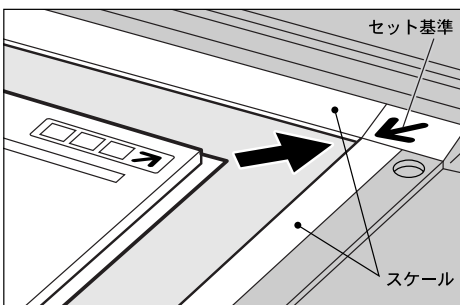
4 圧板の裏面を上にして、コンタクトガラスの上に乗せます。



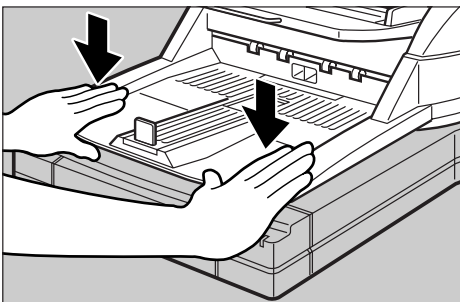
5 圧板の裏面にある矢印と、原稿セット基準を合わせます。

 補足

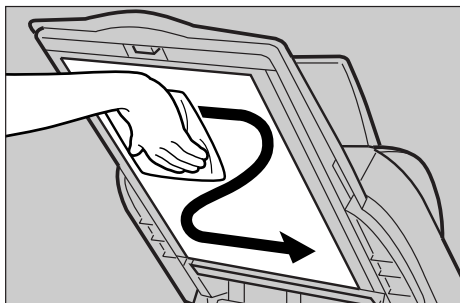
□ 圧板がスケールに乗り上げないようにしてください。



6 自動原稿送り装置 (ADF) をゆっくり閉じて、しっかり押さえます。



7 もう一度自動原稿送り装置 (ADF) を開いて、圧板を全体的に布でしっかり押さえます。



移動

⚠注意



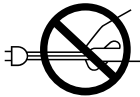
- 機械は約 26kg あります。機械を移動するときは、必ず自動原稿送り装置 (ADF) 側を手前にして持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

⚠注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



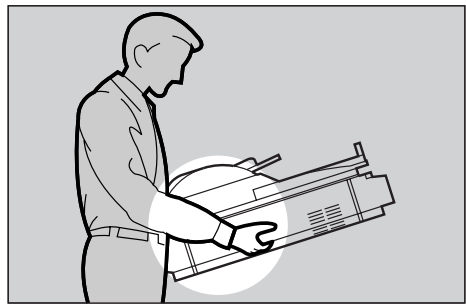
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制 (電波規制や材料規制など) は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。

- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるようにスキャナーの措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

近くに移動するとき

- 1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 SCSI ケーブルを取り外します。
- 3 自動原稿送り装置 (ADF) を手前にし、底より上の部分を持って移動します。



⚠重要

- 移動の際は、できるだけ水平を保ってください。

スキャナーを輸送するとき

スキャナー購入時の箱に入れて輸送してください。

⚠重要

- ケーブル類はすべて取り外します。
- 精密機械ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。

廃棄

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

オプション

ここでは、オプションについて説明します。

画像プロセッシングユニット

このオプションを使用すると、次の画像処理ができます。

制限

- 両面読み取りの場合、「自動2値化」、「自動像域分離」、「セクションエリア」は原稿の表側のみに有効な機能です。

❖ 自動2値化

原稿の明るさから適切なしきい値を自動的に判別し、読み取り画像を2値化します。

❖ 自動像域分離

原稿の中の文字部分と写真部分を自動的に識別し、それぞれに適したスキャンモードで読み取ります。

❖ 原稿サイズ検知

原稿の幅を自動的に検知して、パソコンに送ります。

❖ セクションエリア

原稿の中から領域を選択して、そこに読み取り条件を設定します。

赤ランプユニット

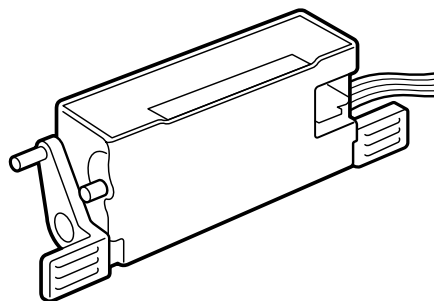
赤ランプユニットを使用すると、OCRのときにマーカーや赤字などの赤色の部分を消してスキャンすることができます。赤ランプユニットを取り付けたり交換するときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

エンドーサユニット

補足

- エンドーサユニットは、オプションの機種と標準で取り付けられている機種がありません。

エンドーサユニットは、自動原稿送り装置(ADF)で読み取った原稿に記号や番号を印字することができます。また、エンドーサユニットの設定は、スキャナードライバーで行います。詳しい設定方法については、お使いのスキャナードライバーのマニュアルやヘルプを参照してください。



仕様

スキャナー本体

形式	デスクトップ型フラットベッドスキャナー
読み取り方式	原稿固定走査方式および原稿移動走査方式
読み取り領域	主走査：最大 298mm 副走査：最大 432mm
線密度	主走査：400dpi 副走査：400dpi
グレースケール	8 ビット / 画素
読み取り時間	0.65 秒 (A4 縦 /200dpi/2 値)
読み取り速度	片面読み取りモデル：55 ページ / 分 (A4 縦 /200dpi/2 値) 両面読み取りモデル：86 ページ / 分 (A4 縦 /200dpi/2 値)
ウォームアップタイム	最大 15 秒
インターフェース	SCSI 2 50 ピンハーフピッチ (ピンタイプ) × 2
電源	AC100V 2A (50/60Hz)
消費電力	片面読み取りモデル：待機時最大 50W (オプション装備) 稼動時最大 90W (オプション装備) 両面読み取りモデル：待機時最大 80W (オプション装備) 稼動時最大 120W (オプション装備)
大きさ	470mm (幅) × 677mm (奥行) × 278mm (高さ)
質量	片面読み取りモデル：約 25kg 両面読み取りモデル：約 26kg (エンドーサユニット装着時にはプラス 1kg)
高調波ガイドライン ^{*1}	高調波ガイドライン適合品

*1 本製品は社団法人日本事務機工業会が定めた「複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン」に適合しています。

電波障害自主規制

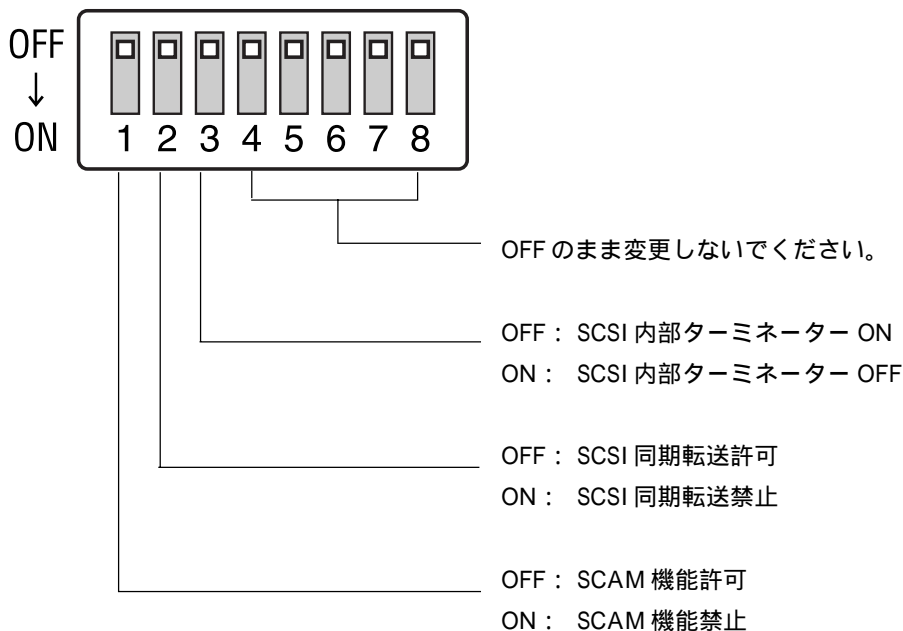
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

指定されたケーブルを使用されない場合は、上記 VCCI の基準に示された限度値を超えることがありますので、必ず指定されたケーブルをご使用ください。

DIP スイッチ

本機の DIP スイッチは、1～3のみ設定を変更できます。それ以外は変更しないでください。



重要

- 1つのディジーチェーン上に SCAM 機能を許可した本機が複数つながっていると、ID が認識されなくなります。そのときは、1 番のスイッチを ON (SCAM 機能禁止) に切り換えて、ロータリースイッチで SCSI ID を設定ください。
- ディジーチェーンが長すぎたり、規格外の SCSI ケーブルを使用すると、同期転送のときに誤動作する可能性があります。そのときは 2 番のスイッチを ON (SCSI 同期転送禁止) にしてください。
- 本機をディジーチェーンの途中に接続する場合は、3 番のスイッチを ON (SCSI 内部ターミネーター OFF) にしてください。

索引

A

ADF カバー ----- 11, 29, 35
ADF コンタクトガラス ----- 35

B

BUSY ----- 12

D

DIP スイッチ ----- 11, 15, 27, 40

S

SCAM ----- 15, 40
SCSI ----- 15
SCSI ID ----- 16, 27
SCSI ケーブル ----- 15, 16, 27, 37
SCSI コネクタ ----- 11
SCSI ボード ----- 15

T

TWAIN ----- 9, 25

ア

圧板 ----- 11, 35, 36

イ

移動 ----- 37
インクロール ----- 30

ウ

裏面読み取りインターフェース ----- 11

エ

エラー ----- 12
エンドーサ ----- 9, 28, 30, 31, 32, 38
エンドーサカバー ----- 10, 30

カ

画像プロセッシングユニット ----- 38
片面読み取りモデル ----- 39

ケ

原稿サイズ検知 ----- 38
原稿セット ----- 12
原稿テーブル ----- 10, 29

コ

コンタクトガラス ----- 11, 21, 22, 23, 35

シ

自動2値化 ----- 38
自動原稿送り装置 (ADF) -----
--- 9, 10, 12, 21, 22, 23, 24, 28, 29, 35, 36
自動像域分離 ----- 38

ス

スキャン ----- 41
スキャンモード ----- 42
【スタート】キー ----- 10, 26
ストッパー ----- 10, 23, 24

セ

清掃 ----- 34
セクションエリア ----- 38, 47
セット基準 ----- 23, 36

タ

ターミネーター ----- 15, 16, 40

テ

ディジーチェーン ----- 15, 40

電源 ON ----- 12

電源ケーブル ----- 17

電源コネクタ ----- 11, 17

電源スイッチ ----- 10, 17, 18

ト

ドラム ----- 35, 36

ノ

ノブ ----- 29, 35

ハ

ハードリセット ----- 19

ハードリセットスイッチ ----- 11, 19

廃棄 ----- 37

排紙テーブル ----- 10, 29, 31

ヒ

表示部 ----- 10, 12, 27, 28

フ

フィードローラー ----- 29

ホ

補助テーブル ----- 10, 23

ホワイトプレート ----- 34

ホワイトローラー ----- 36

マ

マニュアルスキャン ----- 9, 12, 26

リ

【リセット】キー ----- 10, 26

両面読み取りモデル ----- 9, 39

レ

赤ランプユニット ----- 38

ロータリースイッチ ----- 11, 16